

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 18 日現在

機関番号：13101

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2008 年～2011 年

課題番号：20592574

研究課題名 (和文) 不妊治療を受ける女性の気の流れを診断しケアの処方につながる看護の探究

研究課題名 (英文) Research of nursing which diagnoses of the function of meridians of the woman who undergoes infertility treatment, and leads to prescription of a care

研究代表者

佐山 光子 (SAYAMA MITSUKO)

新潟大学・医歯学系・教授

研究者番号：50149184

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：看護学・生涯発達学

キーワード：母性・女性看護学

1. 研究計画の概要

(1) 本研究は東洋医学的観点から、不妊治療中の女性の「気の流れ」即ち経絡-臓器機能を AMI (経絡-臓器機能測定器) によって測定し、所見が心身状態を反映しているかどうか明らかにすることである。それによって心身の調和を診断しケアにつなげることをめざしている。

(2) まず女性の性周期と経絡-臓器機能を把握するため女子学生を対象に①基礎体温及び AMI データを収集し、併せて②女性特有の健康評価質問紙、③心理テスト (POMS) ④インタビューによって AMI 所見の信頼性と妥当性を検証する。

(3) 次に上記を基礎データとして不妊治療中の女性を対象に AMI 測定を実施し、この結果をもとに不妊看護における東洋医学的な看護診断とケアの処方に向けて AMI の適用可能性を考察する。

2. 研究の進捗状況

(1) 20 年度 (研究実施のための基盤整備)

①平成 20 年 7 月に新潟大学医学部倫理審査委員会の承認を受けて研究を開始した。

②不妊治療クリニック等の病院長に研究協力を要請し、不妊治療女性の被験者募集と応募手続きの体制を整備した。

③女子学生の被験者募集を行い、インフォームド Consent のもとで研究承諾書を取り交わし研究協力者を確保した。

④研究実施に向けて被験者を集め、AMI の測定方法についての講習会を開催した。

⑤AMI 測定と質問紙調査による試行を実施しデータ収集、解析を行った。

(2) 21 年度 (研究計画及び測定手法の修正)

①本研究に関して、専門家から AMI データの安定性に問題があることが指摘され、収集データ BP 値 (分極前電流値) の精度確認作業を実施し、研究デザインの修正と測定方法、測定用具、質問調査票の修正、追加を行った。

②研究計画の修正後、AMI 測定環境を整備し、不妊女性及び女子学生の被験者 22 名の AMI 及び基礎体温測定、心理テスト、女性の体調調査、体質調査、月経前症状調査を開始した。

(3) 22 年度

被験者の測定は 2 週間に 1 回の間隔で測定し、I 期 4～9 月、II 期 10～23 年 3 月に分けて実施した。I 期のデータ解析の所見について学会で発表し、引き続き II 期の測定を継続中。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由) 21 年度に研究計画の見直しを行い、研究実施の遅れが生じたものの、被験者の定期的な測定体制が整い、性周期と経絡-臓器機能に関する有用な基礎データが順調に蓄積できさらに継続中である。21～22 年度の実績から不妊治療女性の被験者確保に向けてクリニックの協力を得ることができている。

4. 今後の研究の推進方策

23 年度は不妊治療女性に主眼をおいて被験者募集を行い、AMI 測定を実施する。

21-22 年度の経験から、不妊治療女性の協力者確保が困難であること、仕事や家庭の事情により継続して測定に協力することが難しく脱落者が多いこと、妊娠によって研究対象外となることなどの障害を把握している。

そのため、研究の推進方策として以下の取り組みを行う。

(1)被験者確保の推進方策として①クリニックに出向き、趣旨説明を個別に行い患者の理解を得る、②測定の間を不妊外来に設置する、③被験者協力の謝礼を支払う、④スノーボールサンプリングを活用する。

(2)データ収集の推進方策として①これまでの基礎データをもとに、測定回数を減らし脱落者を減らす、②被験者の個別データに主眼をおき必要人数を精選する。③重点的な聞き取り調査を行い、質的データを収集する。

(3)研究のまとめの推進方策として、不妊治療女性のAMI所見をはじめ、収集データの分析、解釈については東洋医学及び鍼灸の専門家の助言を得て、看護の見立てを考察する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計0件)

[学会発表] (計2件)

① Mieko Sadakata, Mitsuko Sayama, Etsu Satoh, Mayumi Ishida : Development of evaluating Method of woman with Cold-constitution—Analysis of meridian organ function and subjective symptoms, 4th Asia Pacific Traditional nursing conference, Taiwan, 2010.

② 佐山光子、定方美恵子 : 女性のホルモン周期と経絡臓器機能の測定所見、人体科学会第20回大会、東京、2010年

[図書] (計0件)

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

出願年月日 :

国内外の別 :

○取得状況 (計0件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

取得年月日 :

国内外の別 :

[その他]